

庵んおとし子

第42号

平成27年 1月15日発行

目 次

- 新年のあいさつ（2・3）
- 患者対応度診断について（4・5）
- 『第18回平戸市立病院 院内研究会』について（6）
- 風物はくすり②（7）
- 単身赴任診療録3（8）
- 新人紹介（9）
- 地域医療を学ぶ（10・11）
- 外傷研修会（12）
- 掲示板（13）
- 週間診療担当表（14・15）
- 栄養管理室だより（16）



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます



病院事業管理者

池田 柊一

明けましておめでとうございます。みなさまおそろいで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年がみなさまにとって幸多い年でありますように心よりお祈り申し上げます。

昨暮は突然の衆議院の解散となり、圧倒的多数で安倍内閣が支持されました。地方にアベノミクスのおこぼれが回ってくるのはいいことになるのか、その前にTPPの暴風が到達するのではないかというところでは、単純な頭では、大借金をしても良しとする経済の考え方がよく理解できませんが、孫の時代にツケを残さないよう、格差社会に陥ることがないよう、舵取りがうまくいくことを祈るばかりです。

さて、平戸市病院事業の経営は昨年も順調でした。平戸市市民病院に6月に開設した通所リハビリテーションセンターも予定どおりの運営を行っています。職員の定数についてはほぼ充足されていますが、医師、薬剤師、放射線技師の不足がまだ解消されません。4月からは複数の



国民健康保険平戸市市民病院長
平戸市保健センター所長

押 淵 徹

平成27年を迎えるに当たり、新年のご挨拶を申し上げます。平戸市民のみなさまには旧年中は平戸市市民病院運営にはご理解を賜り改めてお礼申し上げます。

国民健康保険平戸市市民病院は、その前身である旧平戸紐差病院時代から長年（約30年以上）にわたり培ってまいりました「地域包括ケアシステム」（地域包括医療・ケア）が、超高齢社会を支えるのにふさわしいシステムであると広く国内に認識され国の政策に取り入れられ、介護保険法にも明記されるまでになりました。ここに至るまでには市民のみなさまのご理解はもとより、平戸市内外の医療福祉諸団体のご理解があつてこそその成果と思います。

私たちが提唱してまいりました「地域包括ケアシステム」（地域包括医療・ケア）は、平戸市が日本のどこよりも高齢化・過疎化が早くから始まった地域でありますから、これから日本全体が高齢化していく時期にあつて地域医療の



平戸市立生月病院院長

山下 雅巳

新年明けましておめでとうございます。昨年末は、国政選挙が行われるなどあわただしい師走となり何かとお忙しいことだったと思います。みなさま方には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また日頃から、平戸市立病院の運営に対しご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて平成26年を振り返ってみますと、あつという間に過ぎ去つたように感じられます。平戸市内の出来事では45年ぶりに本県で開催された「長崎がんばらんば国体」において相撲成年男子の2連覇が深く印象に残っております。この場を借りて今大会で活躍されました選手へ心より祝福申し上げます。一方、国内外においては、私たちの暮らしを取り巻く状況がますます厳しくなった消費税の増税、早朝からTVに釘付けになったワールドカップブラジル大会が特に印象に残っています。

当院については、12月末で外科医が1名退職



医師の着任が予定されていますが、病院事業の医師不足は今年も厳しい状況が続きます。また、職員給与の医療職給与表適用が4月から実施されることになりました。長年の懸案でしたが、これで若い職員の採用に弾みがつくことを期待しています。

一方、今年は2025年に向けて医療法の大改訂が行われました。2025年は団塊の世代が75歳になり、日本人の3人に一人が65歳以上5人に一人が75歳以上になり超少子高齢化社会が出現する年です。従来の医療提供システムでは医療機能の破綻（絶対数が足りない）が目に見えているため、これに向けて在宅医療を推進するための政府の対策が行われた訳です。診療報酬改定では我々の病院は極めて不利な立場に置かれました。定められた数値目標が達成されない場合収入減となる、まさにペナルティ的な改定になっています。クリアできそうにない問題が多数あり、対応に苦慮する年になりそうです。

また、「ながさき県北地域医療教育コンソーシアム」が平戸で研修を希望する初期研修医の増加の対応策として平成25年11月に結成されましたが、26年度は60名余が平戸で研鑽をつみます。「長崎大学病院へき地病院再生支援教育機構」の活動も10年目になり、地域のみなさまの温かい協力により発展してまいりました。ここから巣立った多くの若い医師たちが再び戻ってくる日を早くこの目で見たいものです。

課題山積みの新年を迎えることになりましたが、今年も職員一同、地域包括ケアシステムの中心となって市民のために元氣いっぱい働こうと誓います。

手本を示してきたものと思つてます。それは若いうちから健康づくりに取り組み、生活習慣病予防（当時は成人病と言っていました）早期発見・早期治療に取り組み保健の事業と医療福祉介護が緊密に連携することで、元氣な高齢者でいられる社会にしようとの取組でした（元氣老人の創出 との合言葉で呼びかけてきました）。その結果、平戸市の後期高齢者の占める割合は長崎県下の19の市町の中で一番高い（後期高齢者が多い）地域であるにもかかわらず、どこよりも医療費は高くなく、どこの市町より介護保険料が少ない（19市町中18番目）のです。「元氣老人の創出」の合言葉が実現しているものと確信しています。だからこそ国の政策に取り入れられたものと思つてます。

昨年6月には通所リハビリテーションサービスを開始しました。「サンケア平戸」は健康管理センター・訪問看護ステーション・デイケアサービスセンター・居宅介護支援事業所として地域連携室で構成され「地域包括ケアシステム」の拠点として装いも新たにしました。今後ますます平戸市の医療介護福祉にかかわる諸関係者・団体と一層連携を密にし、私たちが提唱し実践してきた「地域包括ケアシステム」が、市民のみなさまが住み慣れた地域・ご自宅で一日も長く家族の方々と楽しく生活がでえられる支えとなるよう職員一同本年も頑張る所存です。



したことに伴い医師数が4名となり医師の確保が喫緊の課題となっています。県などの関係機関と連携を密にし、確保に努めて参ります。また、万一の震災や火災などの停電時に作動する非常用自家発電機の改修や作業療法士の採用、血液検査機器の購入を行うなど医療提供体制の充実を図りました。

平成27年は、2階病棟の建具の改修や回診用X線撮影装置の購入などを予定しており医療提供体制の充実を図りながら、限られた医療資源を有効に活用し医療サービスを提供する体制を構築して参ります。

そして、平戸市民病院に地域臨床教育拠点を設置し、地域医療の最前線で研修を行うことを目的に設置されている長崎大学「へき地病院再生支援・教育機構」・「県北地域医療教育コンソーシアム」や研修医派遣病院と連携し、地域医療の最前線を学びに來られる研修医の受入れを図って参ります。

また本年は、当院がこの地に建設されてから35年の節目を迎えることとなります。これもひとえに町民のみなさまや病院に関わる全ての方々のご支援・ご厚情の賜物と深く感謝いたします。今後もこの地で生月町並びに平戸市の医療を40年・50年：先まですつと担っていききたいと思つております。

最後に、医師や医療技術者確保につきましては厳しい状況が続いておりますが、今後も一層みなさまから信頼される病院をめざし、職員一同努力して参ります。

みなさま方の本年のご多幸とご健勝を祈念いたします。年頭のご挨拶とさせていただきます。

「地域とのふれあいを大切に、 皆様に愛され信頼される 市立病院を目指して」

患者対応度診断を実施しました！
その概要を報告します！



1 目的

- ①市立病院の医療従事者が患者さんやご家族へ対応する際の実態及び医療施設・設備の現状を患者さん・ご家族の目線で診断し課題の抽出を行い、それに対する改善を促すこと。
- ②人材と組織の強化を目指し、患者満足度及び医療の質の向上を目指すこと。

2 診断者（第三者評価）

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
医療リスクマネジメント事業部

3 診断の実施方法

診断前に診断対象部署が事前アンケートを記入し、自らの患者さんやご家族への対応や施設の状況を自己評価した。

この自己評価結果と第三者から見た評価との結果を比較することによって、課題が明らかとなり、改善に取り組むポイントをわかりやすくする。

4 調査施設

- ①国民健康保険平戸市民病院
 - ②平戸市立生月病院
- ※総合案内・各外来・病棟等

5 調査日

- ①平成26年8月25日
- ②平成26年8月26日

6 平戸市立病院の現状、課題

●全体総評 ※グラフ参照

診断した部署、職員によりばらつきはあるものの、総じて病院に来られる患者さん・ご家族の方々へ思いやりを持った対応をしている。

しかし、多忙で配慮に欠ける言動や態度が見られたり、親しみのつもりで伝えた言葉が馴れ馴れしく聞こえるなど、医療従事者が良かれと思ったことが相手側に誤解して受け止められ、結果として苦情に繋がっていると思われる場面も伺えた。

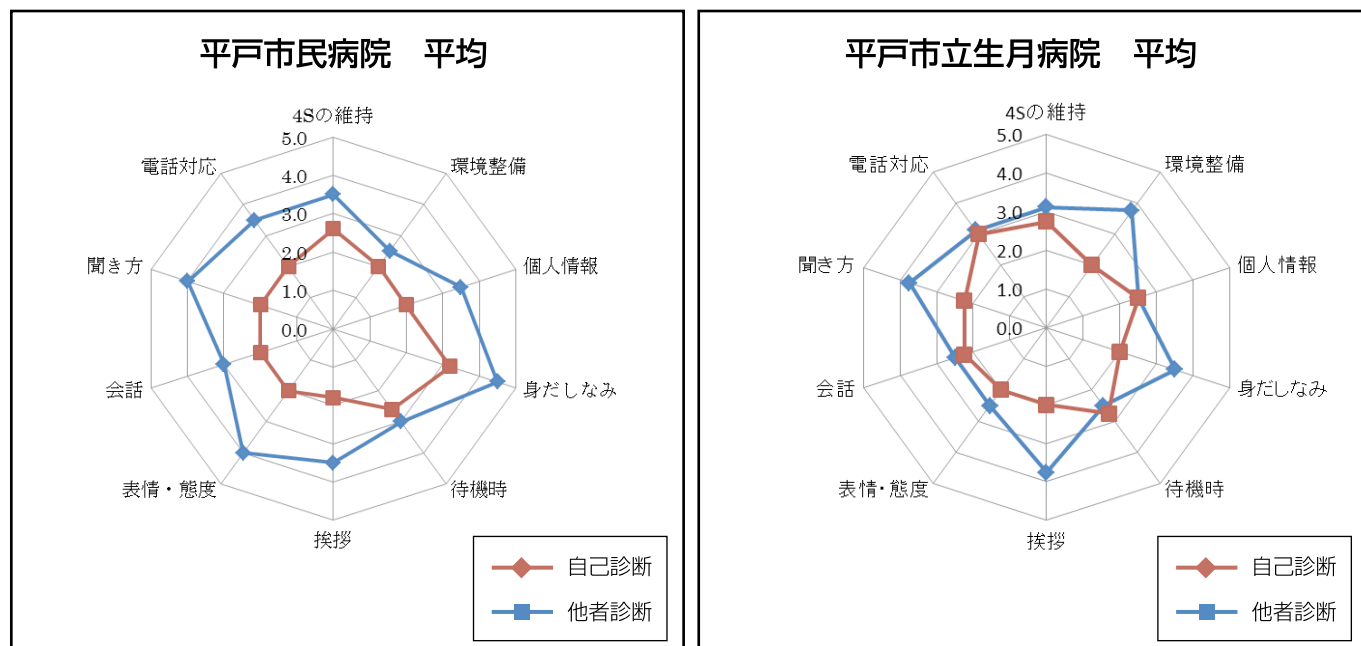
●病院の環境面（整理整頓、来院者目線での環境整備など）

- ・掲示物については、高さやサイズが揃っていない個所や時間が経過して色あせたり、破れたりした掲示物が見受けられる。

●コミュニケーション面（身だしなみ、待機時、挨拶・表情・言葉遣いなど）

- ・接遇に関連した統一基準がないため、一部清潔感に欠ける身だしなみや、命令口調の威圧的な言葉遣いが見受けられる。

- ・対応終了時のお声がけについては、「お大事に。」「失礼します。」等の挨拶が行われているが、説明を実施した際に正確に伝わったかどうかの確認がなされていない場面も見受けられた。
- ・患者さん・ご家族に「お名前の確認」をするなど患者誤認防止のためのコミュニケーションが必要な場面も見受けられた。



7 対応策

●院内フィードバック研修会の実施

目 的：8月実施の調査結果報告会及び研修会の開催

タイトル：医療者が押さえておきたい接遇のポイント「医療現場での接遇を学ぶ」

日 時：平成26年11月20日、21日の2日間

対 象：平戸市民病院及び生月病院

管理職・サービス向上委員会・全職員対象研修会

出席者数：122名

内 容：医療機関における接遇とは何かについて、診断結果の解説や対応方法の検討などディスカッションを通して、日々接する患者さん・ご家族の視点を学び、実践につなぐことができるような講義を実施した。

●患者対応診断に基づく改善計画書の策定

この調査報告を真摯に受け止め、院内のサービス向上委員会を中心に、外来患者、入院患者を対象とした接遇に対するアンケート調査の実施

①接遇に関する基準の作成

②必要掲示物の確認

③5S活動の徹底と環境整備チェックリストの作成（整理・整頓・清掃・清潔・躰け）

④研修会の実施

●全体総括

診断結果から見える患者対応課題を改善するために、「院内接遇力向上への仕組みづくり」と「接遇教育」の対策が必要である。

病院全体が目指す「患者さんに対応する際のあるべき姿」を実現するための「目標」を職員全員が共通の認識を持って理解し取り組むことが求められている。今後は、「患者さんに対応する際のあるべき姿」や「接遇基準」など市立病院としての対応方針と接遇目標、基準を策定してまいります。そして、この取り組みが継続的に職員全員同じレベルで実行できているのか把握し、改善すべきことを次の取り組みに反映させる「仕組みづくり」に向け努力してまいります。

『第18回平戸市立病院 院内研究会』を開催しました。

9月20日（土）生月町中央公民館において「第18回平戸市立病院院内研究会」を開催しました。

この研究会は日々進歩する医療技術や最新の医療に関する情報を交換するために、平戸市立病院と生月病院で取り組んでいる研究発表会です。この研究会には市議会議員や医療関係者、施設職員をはじめたくさんの方のみなさまも聴きに來られました。

第1部

「①特定健診未受診者への外来での取り組み」

生月病院 看護師 岳下みつ代

「②外来患者・看護師の待ち時間に関する調査」

平戸市立病院 看護師 高田みき子

「③重症度、医療・看護必要度記録への取り組み～記録の改善～」

生月病院 看護師 牧山 恵子

「④COAG2Nによる凝固検査の基礎的検討」

生月病院 臨床検査技師 谷口 真彦

「⑤認知症患者への取り組み～学習療法訓練を行う～」

生月病院 作業療法士 前川 俊太

「⑥当院リハビリテーションにおける患者の動向報告～症例を交えて～」

平戸市立病院 理学療法士 近藤 由佳

計6人の職員が看護業務や検査業務、リハビリ業務の質を上げるために日ごろの研究や調査の成果発表を行いました。発表者は日々の忙しい業務と並行しながら研究に取り組み、その集大成としてまとめたものを発表しました。普段詳しく知る機会のない他部署の業務状況も聞くことができ、日々の業務への取り組みを深く知ることができました。

第2部

平戸市立病院に地域臨床教育拠点を設置し、地域医療の最前線で研修を行うことを目的に設置されている長崎大学「へき地病院再生支援・教育機構」・「県北地域医療教育コンソーシアム」関係の講演を行いました。

「平戸と長崎大学で育てる地域医療・第2報」

～ながさき県北地域医療コンソーシアムによる地域医療人教育の点から面への展開～

長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構

准教授 中桶 了太

「研修医による実習発表」

平戸市立病院 地域医療研修医 目時 嵩也

生月病院 地域医療研修医 山口 圭祐

生月病院 地域医療研修医 藤尾 俊允

第3部

全国でも珍しい無農薬・有機栽培のお茶の栽培・

加工・販売を行い、農林水産大臣賞等の数々の賞

を受賞した北村製茶（佐々町） 統轄 北村誠氏による

「お茶に生きる」と題して特別講演がありました。北村氏の講演は、面白い話や真面目な話を織り交ぜた軽快なトークで会場は大いに盛り上がりました。また、医療や介護現場などに通じる話も満載で大変有意義な講演でした。

各発表後は質疑応答も活発に行われ熱気あふれる研究会となりました。



風物はくすり②



雪がちらほら舞い始める頃、平戸の島は赤や白の椿の花で鮮やかに彩られる。平戸のみならず、長崎全体がこの花に包まれる季節を迎えた。

長崎県では県の花木として「ツバキ」が採用されている。それは県西部に浮かぶ五島列島がおおよそ900万本という日本屈指の椿林を擁し、「アンコ椿は恋の花」で知られる東京都の大島とツバキ油生産高1位の座を毎年争う程、椿が地域資源として重要視されることから察せられよう。また家庭でもそれぞれ観賞用として極めて秀逸な花を咲かせており、各地域での椿展は多くの人々の目を楽しませている。

椿の実是非常に硬い。そのため平戸一円では「カタシの実」、「カタイシの実」または単に「カタシ」などと呼ばれていることは周知のことであろう。猪渡谷地区では「カタシ川」と地名に使用されるほど身近な呼び名である。このカタシの実は潰すと淡黄色の油が採れる。オレイン酸という酸化（劣化）しにくい油の成分を多く含み古くから整髪料や食用などに用いられて来た。現在、椿油は医薬品としても用いられており、その優れた保湿効果などから脂漏性皮膚炎や透析時の難治性皮膚掻痒感、アトピー性皮膚炎治療時の他剤軟膏の皮膚刺激を緩和する効果が認められている。

昨年、世界遺産の推薦を受けたカトリック田平教会（平戸市田平町）の内壁には椿のレリーフが施されている。また、カトリック紐差教会や五島列島の多くの教会群にも同様に「椿」がシンボリックに用いられている。長崎県におけるカトリック信徒の人口割合は他県を圧倒しており、信徒の先祖がキリシタン迫害による潜伏時代から椿を神聖なものとし敬服してきたことも、この長崎県の椿熱に少なからず影響を与えているとも思われる。

また禁教下、潜伏キリシタンが守り伝えた『マリア十五玄義図』には、聖母マリアが白椿を手に持っている姿が描かれている。本来このオリジナルとなる原図には聖母の象徴であった白薔薇が描かれていたが、当時の日本に薔薇が無かったため日本人はこれを椿と認識し『マリア十五玄義図』を描いたとされる。

さらに、外海地方には「バスチャンの椿」という霊木の伝説が残る。禁教時代、日本人伝道士バスチャンが西彼檜山にあった椿の大木に指で十字を記すとその跡が幹にはっきりと浮かび上がったとされ、以降その地は霊地となり信仰の対象となった。迫害の波が強まった安政3年に役人によって霊木が伐り倒されるという噂が流れると、キリシタン達は自らで椿を伐りその枝を各戸へ配布した。その木片は葬儀の際、死者の額に白布と共に巻かれ天の国へ送ったとされている。まさに椿は長崎キリシタンにとって最も崇敬される花であったのである。

椿の花言葉のひとつは「敬愛」である。市民病院も患者様へ愛を以って常に臨めるよう励んで参ります。



←「カトリック田平教会」：椿をかたどったレリーフ



<アクセス>

西肥バス「平戸口駅前」バス停から肥首行き乗車
「天主堂前」バス停にて下車

平戸市民病院薬剤師 近藤 司

「今日が明日のために、 今年が来年のために」



医師の仕事が始めて間もない頃、あることがきっかけで花を育てるようになりました。

私は植物を育てるのが好きで、数十という鉢植えを育てながらも時間があれば花の種や苗を買いに出かけます。何が楽しいって、花が咲く瞬間もそうですが、それまでの長い過程と、開花後に実を結んで次の世代に命をつなげる姿が人の一生に似ていて、一年を通じてその成長の素晴らしいさを見られることです。鉢植え植物は育て方次第できれいに育つことも、枯れることもあります。

これまでの単身生活で鉢植え植物をベランダに置いたままにして枯らしてしまうことがよくありました。植物にとってベランダには短い日照時間、極端な気温の変化、風通しの悪さなど過酷な条件がそろっていま

す。植物の育つ環境について勉強し、その場に合った育て方を工夫します。鉢植え植物は単に水、肥料、光だけ与えて良いわけではなく、その時期、種類に適した管理が必要です。植物を枯らせれば反省して、来年に向けてもっと勉強する。毎日、植物を気にかけて愛情を持って育てる。何か自分の子供や部下を育てているみたい。すべての鉢に愛情が湧きます。こうなればもう家族みたいなものです。過酷な条件でゆっくり大きくなつて実を結ぶ。そこに至るまで植物も、栽培する人間も決して楽なことではないのです。

話は変わりますが、昨年から多くの中国史を夢中になって読んでいます。古代中国の栄枯盛衰と同時に人生において大事なことを学べるからです。三国志から少し引用しました。

劉備玄德は関羽、張飛に出会い桃園の誓いを結び、劉備を皇帝の器と見込んで共に天下を獲ろうと誓いました。しかし若い頃から劉備は国を持たず、大きな野望だけは心に秘めながら流浪の苦しい生活を送っていました。諸国を渡り歩いていた劉備

が廃寺に身を潜めていた時、張飛をなだめた言葉に次のようなものがあります。

「身を屈して分を守り、天の時を待つ。蛟龍こうりゅうの淵ひそに潜むは昇らんが為である。」

つまり今、辛く苦しい思いをしているのは、いずれ成功して目的を叶えるためという意味です。

再び植物に話を戻しますが、植物は正直で、育てる者が精一杯の努力をすればそれに応えて結果（開花、結実）を出す。ところがいい加減なことをすると枯れてしまう。植物を育てることは医療に少しだけ似ていると思う。

しかし患者の治療に失敗があつてはいけない。治療には不十分な知識やいい加減な態度が許されない。常に患者に精一杯の努力をしなければならぬ。努力を惜しんではいけない。患者は自然に治ろうとするが、病気の種類、病状、患者の体力によつては治せないこともある。不幸にも病気で亡くなられた時には最後に枕元で「よくがんばったね」って言ってあげたい。しばらく気持ちが落

ち込むが、自分をなぐさめてくれるのが植物だと思っています。

仕事を始めて間もない頃、患者の死に遭遇して悲しみを感じ、帰路で見つけた花を慰めにひと株、またひと株と買い始めたのがきっかけでした。植物は目標に向けて日々成長してゆく。自分も成長を続けたい。今辛くて苦しい思いをしても今日が明日のために、今年が来年のためになる蓄えをして、花の蕾や深淵の蛟龍の様な生活をしています。さて、今度はどんな花を咲かせようか。寒さもあと少し。インフルエンザ予防接種を早めに打ちましょう。

平戸市民病院 呼吸器科医師

中村 宏





平戸市民病院
外来看護師
藤井 貴香子

平戸市民病院に就職して半年が経ちました。夜勤も、外来での夜勤はこの職場が初めてで、日々患者さんに対する対応の難しさ、判断に悩む日々です。



平戸市民病院
外来看護師
中村 咲絵

先輩方のアドバイスも、うまく覚えきれず同じ失敗を繰り返してしまいう事も多々あり、今は外来業務を確実にマスターでき、スムーズに患者さんにとっての外来診療ができるように頑張りたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

7月から平戸市民病院に採用にな



平戸市民病院
一般病棟看護師
石田 圭子

りました中村と申します。これまで、愛知、東京、福岡と各々の病院で病棟看護師として勤務してきましたが、今回初めての外来担当となりました。これまで働いてきた環境と全く異なっており当初は戸惑いましたが乳幼児、高齢の方まで幅広い年齢層の患者様への初期対応及び継続看護がしっかりとこなせるようになってからも日々精進して参りますのでよろしくお願いいたします。

昨年の7月から2階病棟に配属になりました。

就職して半年が経ち、少しずつ業務や病棟の流れが分かるようになって来ました。先輩看護師の方々の熱心で丁寧な指導をいただきながら日々頑張っているところです。まだまだ、分からない事や、不安、



平戸市民病院
療養病棟看護師
川上 文子

戸惑いはありますが、看護師としての責任感をもち学びを深めて行くことはもちろん、患者さんに信頼されるような看護が提供できるよう精進したいと思っています。

10月から療養病棟にお世話になっています。先輩の指導を受けながら毎日頑張っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



平戸市民病院
管理栄養士
松山 真理

昨年の6月からお世話になっております、松山真理です。生まれ育った平戸で働くことができ、大変嬉しく思っています。これから、地域に密着した栄養相談や教室などができれば良いと思います。未熟な点が多いですが、よろしくお願いいたします。



平戸市民病院
理学療法士
草野 彩

平戸の自然と文化に惹き付けられ移住してきました。平戸の方々の穏やかな人柄に助けられ、3階リハビリ室とデイケアで働かせてもらっています。よろしくお願いいたします。



長崎県へき地病院
再生支援教育機構
山下 匠子

昨年10月から、ながさき県北地域医療教育コンソーシアムで勤務しております。

県北での充実した地域医療研修の内容を研修医の先生方はじめ、多くの方にお届けすることができれば良いと思っています。まだ不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

地域医療を学ぶ

平戸市民病院と生月病院には、年間を通じ多くの研修医の皆さんが地域医療を学びに来て
います。慣れない土地や言葉に囲まれて、研修生活を送られるみなさんの声をご紹介します。
なお、研修医の皆さんのレポートは長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構のホーム
ページ (<http://hekichi-byoinsaisei.net>) に掲載しています。

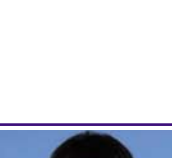
平戸市民病院

	三神 和幸 6月30日～7月25日 神鋼病院	7月は計4人の研修医が集まり地域医療を学ばさせていただきました。膨大な人数の健診をこなし、予防という観点の重要性を学びました。
	吉田 啓佑 6月30日～7月25日 横浜労災病院	外来では幅広い訴えを持つ患者さんたちの診療を経験し、診療科の垣根を越えた幅広い診察力が要求されることを体感しました。訪問診療・訪問看護・訪問リハビリでは患者さんの日常生活に組み込まれた在宅医療を実践しました。
	藤井 翔太郎 6月25日～7月11日 西神戸医療センター	大島・度島での離島研修では医療資源の少ない中、市民病院のような中規模病院とうまく連携をとりつつ、島民に慕われながら診療をする医師の姿を間近で見ることができました。
	尾崎 正英 7月14日～7月25日 西神戸医療センター	優しい職員に囲まれ、平戸の自然、食の幸を楽しみながら楽しく研修を行わせていただきました。
	中園 美紗子 8月4日～8月29日 横浜労災病院	8月は私達3名が平戸市民病院で研修させていただきました。普段勤務している病院と大きく違うことは、病院から外に行く機会が多いという点でした。高齢者の多い地域の特性を考慮し、特に予防医学に力を入れていると感じました。また、医療スタッフが自ら地域に出て行くことで患者さんとより厚い信頼関係が生まれ、患者さん一人ひとりの生活環境を考慮した医療の実践が出来ていると感じました。先生方をはじめ、病院スタッフの皆様、地域の方々に支えられ、とても充実した1か月となりました。業務以外にも、平戸の自然に癒され、美味しい海の幸や地酒、平戸の歴史にも触れることが出来ました。1か月間、本当にありがとうございました。
	島貫 茉莉江 8月4日～8月29日 横浜市民市民病院	
	横山 明弘 8月4日～8月29日 長崎大学病院	
	綿貫 慎太郎 9月1日～9月26日 横浜労災病院	
	横井 一範 9月1日～9月26日 日生病院	9月は計4人の研修医がお世話になり、研修を1か月間行いました。健診、外来、訪問診療で患者さんとの対話を日々行い、普段の研修ではなかなか感じる事の出来ない患者医師関係を勉強させていただきました。患者さんが病院に来院し診療を行うだけでなく、医師が出向いて講座を行う出前講座に参加させて頂いたり、離島での診療に実際に携わることで、人と人の信頼関係をまず基盤に置いた医療を学ぶことが出来ました。短い間でしたが、スタッフの方々には大変お世話になりました。有難うございました。
	高田 真基 9月1日～9月26日 京都医療センター	
	目時 嵩也 9月1日～9月26日 四国こどもとおとなの医療センター	



	三瀨 正秀 9月29日～10月24日 長崎大学病院	外来や訪問診療では日々経験する症例や年齢の幅広さに驚きながら、幅広い知識と経験の重要性を改めて感じました。この地域で行われている院外での医療の一つに訪問診療があります。その場での採血・画像評価等ができないため、幅広い知識と経験、それを活かした診察、コミュニケーションが訪問診療という医療を支えています。 多くの患者様とそこご家族、平戸市民病院の医師、看護師、その他コメディカルの方々と接することで、多くのことを学び、吸収した1か月でした。この出会い、経験を忘れることなく、それぞれの研修先でも最善の医療を提供できるよう日々精進していきたいと思います。地域医療として貴重な1か月間を経験させていただき、ありがとうございました。
	柴宮 明日香 10月6日～10月31日 横浜労災病院	
	白川 裕基 10月6日～10月31日 北里大学病院	

生月病院

	木越 宏紀 6月30日～7月25日 横浜労災病院	生月病院では、午前中は外来、午後は往診や健診、老健施設の回診に参加させていただきました。外来の患者さんはみんなが知り合いで、地域に根差した病院だなという印象を受けました。また、初めての経験であった往診では、お家で患者さんのお話を聞き、診察をし、とても印象的でした。私の研修先の病院とは患者さんの年齢層も疾患も異なり、地域で第一線で働くには、専門性を持ちつつも様々な分野の知識を持ち合わせている必要があるのだなと思いました。いろいろと教えてくださった先生方はもちろん、優しく気さくに話しかけてくださったコメディカルや事務の方々のおかげで楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。
	永田 典子 7月1日～7月31日 長崎医療センター	
	佐藤 健朗 8月4日～8月29日 横浜労災病院	
	佐野 貴紀 7月28日～8月22日 神鋼病院	泌尿器科志望の佐野医師と神経科志望の佐藤医師は、すぐに意気投合し、島の医療に従事した。上級医の指導を仰ぎながら、多くを経験し、地域とその医療について学んだ。改めて、病院関係者、島民の方々に感謝致しております。人生で忘れることのない充実したひと月であった。
	藤尾 俊允 9月1日～9月30日 北里大学病院	
	山口 圭祐 9月1日～9月30日 長崎医療センター	
	土屋 学 10月6日～10月31日 静岡済生会総合病院	外来では、新患の対応やケガの縫合など、内科・外科問わず初日からフル回転でした。島の人とはとにかく元気で、90代後半のお婆ちゃんが歩いて診察室に入ってくことに驚かされ、様々な主訴に対して医学書をこっそり見ながら病気や薬の説明を行い、健診では怪しい所見が無いか、心電図・エコー・X線写真と必死ににらめっこしていました。また入院患者の治療方針も、上級医の支持を仰ぎつつ、この検査はどうか、あの薬を使ってみようと、二人で常にアセスメントしプランを立てていました。その他、往診やグループホームの回診など、患者様の生活背景を考慮しつつ診療に当たることの難しさも経験しました。全体を通して、エコーや内視鏡、治療など随分と好き勝手に、のびのびとやっていました。色々足りない点ばかりの二人でしたが、先生方の強力なバックアップのみならず、看護師や検査技師、事務の皆様にも優しく見守っていただき、充実した研修生活を過ごしました。本当にありがとうございました。
	熊谷 友里 10月6日～10月31日 神鋼病院	

外傷研修会を 開催しました

10月17日（金）平戸市民病院において、日本病院前救護活動（JPTEC）インストラクターを招き、消防士、救急隊、看護師にて合同演習を行いました。事故現場にて怪我の程度を観察して担架に固定し、医療機関へ搬送するまでの手順です。看護師が事故現場での救護活動をする機会はほとんどありません。実際に救急隊の演習を見学させていただき、臨場感があり、事故発生から現場到着、救護活動の内容を知ることができました。また、インストラクターによる説明を交えながら演習を行うことで救護活動の内容の意味を理解することができました。今後も継続して学習できるように自己研鑽を行い、救急医療体制の確立に努めていきたいと思えます。

平戸市民病院スタッフ一同



クリスマス会開催

12月9日（火）平戸市民病院3階病棟においてクリスマス会を開催いたしました。

賀来医療監のバイオリン演奏、津吉保育所の園児による踊り、大正箏など沢山の出し物があり、楽しいひとときを過ごすことができました。ご協力いただきましたみなさん、ありがとうございました。





ソファの寄贈を頂きました

生月大巡団体様よりソファの寄贈を頂きました。

タクシー待ちなどに使用していただくため受付窓口横に設置しました。硬さや高さもちょうどよく利用された方からは大変好評です。大切に使用させていただきます。誠にありがとうございます。



元触老人クラブ様による生月病院外庭清掃を実施して頂きました

10月29日（水）早朝より約35名の元触老人クラブ会員様（田淵俊夫支部長）による生月病院外庭清掃活動を実施して頂きました。元触老人クラブ様には、毎年春と秋の年2回にわたり生月病院外庭清掃活動を実施して頂いております。みなさんは作業が素早く、草もきれいに抜き取られていました。また、植木もきれいに剪定され清々しい雰囲気となりました。

この場をお借りして改めてお礼申し上げます。



クリスマスデザートバイキングを実施

12月2日（火）に平戸市民病院3階療養病棟において、デザートバイキングを行ないました。普段は、寝たきりの患者様も車いすで移動し、「どれにしようかな」と悩む場面も見受けられ、和やかなひとときを過ごすことができました。



スタッフ急募！

平戸市民病院では、看護職員を募集しています。

「地域とのふれあいを大切に 地域に愛され信頼される包括医療の実践」を病院理念として日々スタッフ一同がんばっています。この病院で、いっしょに働いて見ませんか。詳細については、説明いたしますので下記までご連絡下さい。

募集定員

看護師

若干名

介護福祉士及び

看護業務補助者

4～5名

連絡先 平戸市民病院

総看護師長 川渕まで



担当表

【 平戸市民病院 】

〔都合により変更する場合があります〕

診療科	医師名	午前・午後	月	火	水	木	金
内 科	池 田	午 前	診 察	診 察	(病棟)	診 察	(病棟)
		午 後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	賀 来	午 前	(病棟)	診 察	診 察	診 察	(病棟)
		午 後	病棟／新・急患	禁煙外来 (要予約)	禁煙外来 (要予約)	禁煙外来 (要予約)	病棟／新・急患
	中 村	午 前	新・急患	(病棟)	診 察	診 察	診 察
		午 後	病棟／新・急患	(病棟)	(病棟)	(病棟)	病棟／新・急患
	飯 野	午 前	診 察	診 察	(病棟)	新・急患	診 察
		午 後	病棟／新・急患	(病棟)	(病棟)	新・急患	病棟／新・急患
	中 桶	午 前	診 察	新・急患	診 察	(病棟)	診 察
		午 後	病棟／新・急患	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	濱田(勉) (度島診療所長)	午 前			内視鏡		
	山下 (生月病院長)	午 後			第1・2・3水曜 大腸ファイバー(CF)		
外 科	押 淵	午 前	診 察	診 察	(病棟〈訪問〉)	(病棟〈訪問〉)	(病棟)
		午 後	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査
	堤	午 前	内視鏡	内視鏡	診 察	内視鏡	診察・内視鏡
		午 前	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査	病棟又は手術・検査
	濱田(貴)	午 前				診 察	
		午 後				病棟又は手術・検査	
整形外科	折 出	午 前	診 察	(病棟)	診 察	診 察	診 察
		午 後	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)	(病棟)
	派遣医師	午 前		診 察 (長崎労災病院) (要予約)			
小 児 科	濱田(貴)	午 前	診 察	診 察	診 察	診 察	診 察
		午 後	(病棟及び外来)	(病棟及び外来)	(病棟及び外来)	(病棟及び外来)	(病棟及び外来)
眼 科	派遣医師	午 前	診 察	診 察			
		午 後	(病棟及び外来)				

【診療応援等】

○耳鼻咽喉科 第1、第3、第5木曜日の午後 ごとう耳鼻咽喉科（後藤医師）

※午前の受付は午前11時までにはお願いします（午後の診察は午後2時からです）

※急患はいつでも受付けます

※月・火・金の午後及び、水曜日の新・急患については、担当医が変わります



婚礼予約 受付中

Seaside Wedding



平戸海上ホテル

〒859-5102 長崎県平戸市大久保町2231-3

TEL／0950-22-3800 <http://hiradokaijyohotel.co.jp>

【 生月病院 】

診療科	医師名	午前・午後	月	火	水	木	金
内科	山下	午前	診察・新患	診 察	診 察	診 察	診 察
		午後					
	鳥谷	午前	診 察	診察・新患	診 察	診察・新患	診 察
		午後					
	小村	午前	診 察	診 察	診察・新患	診 察	診察・新患
		午後		診 察			診 察
外科	鈴木	午前	診 察	診 察	診 察	診 察	診 察
		午後	診 察		診 察	診 察	

○泌尿器科 毎月最終水曜日 青洲会病院 理事 山崎医師

○整形外科 小林医師

1 月13日（火）～16日（金）午前中

2 月16日（月）～20日（金）午前中

3 月16日（月）～20日（金）午前中

平戸市民病院 折出医師

小林医師が診察する週以外の水曜日（午後のみ）

○血液内科 毎月第2火曜日 平戸市民病院 管理者 池田医師

○循環器科 毎月第2週目の木曜日 平戸市民病院 医療監 賀来医師
偶数月の第4金曜日 伊万里有田共立病院 副院長 松永医師

○呼吸器科 毎月第4木曜日 平戸市民病院 中村医師

○眼 科 3か月に1回（日曜日） まえだ眼科（福岡） 医師 前田医師



平戸椎茸

— ふるさとの味 —

ひらどろまん

平戸市森林組合

榎井元産業 しいたけ生産部

平戸しいたけ生産組合

榎きのこ屋

平戸市宝亀町91-1
TEL 0950-28-0300

平戸市戸石川町7-1
TEL 0950-22-3104

平戸市戸石川町7-2
TEL 0950-23-8161

平戸市前津吉町605
TEL 0950-21-2001



材料 (4人分)

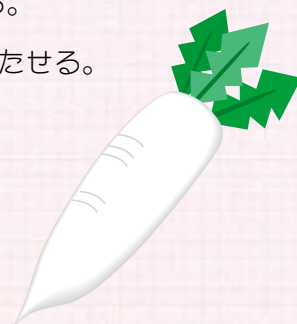
大根	1/2本
昆布	10cmくらい
水	水カップ3~4
鶏挽肉	150g
砂糖	大さじ1と1/2
味噌	大さじ2
片栗粉	大さじ1/2
サラダ油	大さじ1/2

ふろふき大根の鶏みそがけ



作り方

- ①大根は2cm幅に切り、厚めに皮を剥き、角を面取りし、片面に十字を入れる。
- ②柔らかくなるまで下茹でする。
- ③柔らかくなった大根は昆布と水を入れ、落とし蓋をして弱火で30分煮込む。
- ④フライパンにサラダ油を中火で熱し鶏挽肉をほぐし、途中で砂糖を入れ炒める。
- ⑤パラパラになったら味噌と大根を煮ている昆布だし（カップ1/2）を入れ煮立たせる。
- ⑥倍量の水で溶いた片栗粉で鶏みそにとろみを付ける。
- ⑦器に汁気を切った大根を入れ、鶏みそをかけたら完成。



大根の豆知識

大根は捨てるところがない野菜です。大根の先端に多く含まれるアミラーゼは、デンプンを分解して消化を高める働きがあります。また辛味成分であるアリル化合物も胃液の分泌を促して、胃を健康に保ちます。食物繊維も豊富で、腸内の老廃物を体外に出す役目も果たしてくれる胃腸薬のような野菜です。大根の葉は根よりもビタミンCが豊富な上、根にはないβ-カロテンには強力な抗酸化作用があります。大根を乾燥させた切り干し大根は、水分が少ない分、カリウム、カルシウム、マグネシウムなど多くの栄養素が濃縮されています。保存も利くのでぜひ活用したい食材です。

【編集・発行】平戸市立病院広報委員会 【印刷】有限会社ケンホクプリント

■国民健康保険平戸市民病院

〒859-5393 長崎県平戸市草積町1125番地12

☎0950-28-1113 Fax 0950-28-0800

URL:<http://www.hirado-municipal-hospital.com/>

■平戸市立生月病院

〒859-5704 長崎県平戸市生月町山田免2965番地

☎0950-53-2155 Fax 0950-53-3009

URL:<http://www.ikitsuki-hospital.com/>